

第3回高2トップレベル記述模試

日本史・採点基準 4・5

◆論述問題・添削記号◆

高2トップレベル記述模試・日本史の採点では、次のような添削記号を用いています。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. < > | 加点ポイント |
| 2. _____x | 事実（史実）に誤認あり |
| 3. _____? | 文意不明 |
| 4. _____ | 論理に飛躍あり |
| 5. 「 _____ 」 | この部分不要／問題の要求とズレあり |
| 6. _____ ✓ | 誤字あり／脱字あり |

◆論述問題・共通の基準◆

1. 太字・アミカケ□□は各**3～4点**，二重線____は各**2点**，◇下線____は各**1点**。ただし，採点に際しては常に前後の文脈に留意する。
2. 表現が不十分な場合，あるいはあいまいな場合，その箇所については，それぞれの配点未満の得点とする。（太字・アミカケ□□ **2点**，二重線____ **1点**，下線____ **0点**）
3. 歴史的名辞*についての誤字・当て字（漢字で記すべき語句の平仮名使用を含む）は，それが加点ポイントに直接関係する場合，**1点減点**。同一語句がくりかえし誤っている場合は，それぞれを減点の対象とするのではなく，まとめて**1点減点**とする。その他の部分に誤字・当て字があった場合，今回は減点しない。
4. 欄外に設問記号を記したりした答案や，句読点のはみだしなど字数がわずかに超過している答案は，本番では無効答案になる可能性もある。しかし今回は，受験生の学力を正確に測定するという観点から，あまりにも明白に指定条件を無視している場合を除き，その部分について注意を与えた上で，採点の対象とする。
5. 各問とも満点を超える得点は与えない。